

日本技術士会カンボジア『農産物加工技術、エネルギー開発技術』コース開講式挨拶

2005年12月5日

AOTS アセアン・南アジア統括所長 吉原 秀男

社団法人日本技術士会、鉱工業・エネルギー省、カンボジアエンジニア協会、および王立プノンペン大学による農産物加工技術と、エネルギー開発技術の2つの研修コースの開講にあたり財団法人海外技術者研修協会（AOTS）を代表してご挨拶をさせていただきます。

このたびの研修は、産業構造支援研修事業の一環として日本政府の政府開発援助資金（ODA）を使った海外研修であります。カンボジア側、および日本側の長期間に渡る綿密な準備をもちまして、本日、当研修が開催できますことは、ご関係の皆様のご努力によるものと深く感謝いたします。

本研修は、グリーンテクノロジー研修の一環として実施され、今年で3年目になります。今回は、農産物加工技術とエネルギー開発技術の2コースを実施し、それぞれの技術の実践的スキルを習得していただくことを目的としています。

日本技術士会の元副会長の吉武様、講師として、加藤<sup>よう</sup>洋技術士事務所の加藤様、佐藤技術士会事務所の佐藤様、タキ・アソシェイツ技術士事務所の高城<sup>たか</sup>様、日本工営株式会社の長谷川様、社団法人日本技術士会の秋山様にご協力いただきます。

研修生の皆様には、講師の方々から最大限の知識と経験を学ばれ、農産物加工技術とエネルギー開発技術の普及を図り、カンボジア産業の発展のためにご尽力いただくとともに、今回の研修に参加できなかった方々にもその成果を伝播され、皆様方の業務の改善に役立てていただきますようにお願いいたしております。

ここで簡単に財団法人海外技術者研修協会（AOTS）の紹介をさせていただきたいと存じます。当協会は、日本政府経済産業省と民間産業界の厚い支援を受けて1959年に日本で最初に設立された民間ベースの技術協力機関で、今年で46年目を迎えます。アジア、アフリカ、中南米諸国、欧州の開発途上国の産業育成のお手伝いをするを目的として、それぞれの国の産業技術者、経営管理者の研修事業を行っております。

AOTSはこれまでに約170国の国と地域から約122,000名の管理者、技術者の方々を日本の研修に受け入れております。さらに、世界各国で行うこのような研修コースを、現在まで70カ国で実施し、約151,000名が研修を受けております。AOTSの日本に受け入れる研修事業と、このような海外での研修を合わせますと、2004年度までに研修参加者総数は約27万名に達しています。

また、研修終了後、研修生の方々は43カ国、70の都市でAOTS同窓会を結成し、自主的に様々な活動を行っています。カンボジアにおいても同窓会が2000年に設立され、会員数は87名、定期的に会合を開き、日本とカンボジアの間の技術交流と友好促進のために活発な活動を推進しております。

最後にこの研修を実現させるために大変なご努力をしていただきましたご関係の方々に深くお礼申し上げますとともに、この度の研修が成功裡に終わりますことを心からご期待申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

ありがとうございました。